

Yumeken

春

2021 Vol.693

◆特集○話題の焦点

間近で見学できる、貴重な文化財の改修工事
比叡山延暦寺 根本中堂大改修工事

◆夢インタビュー

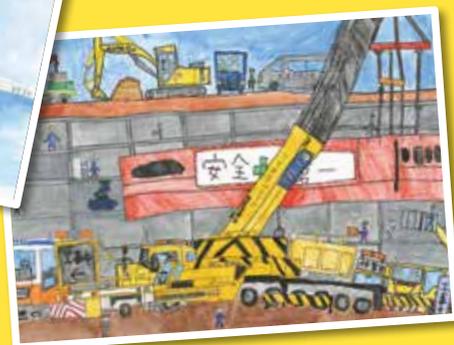
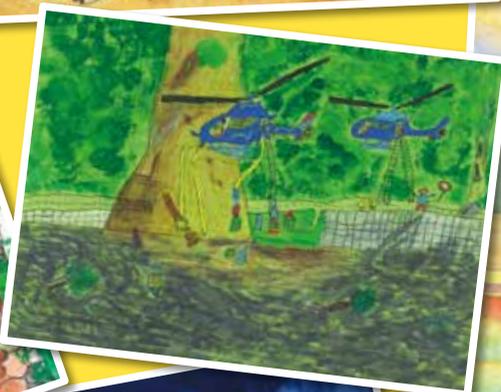
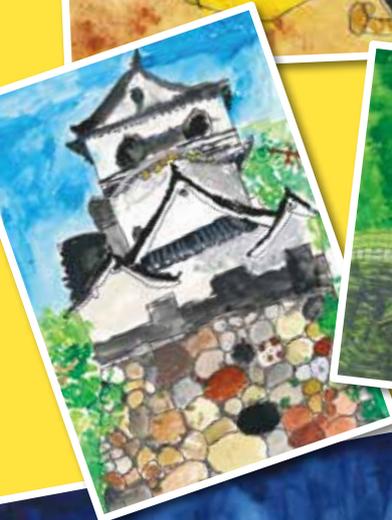
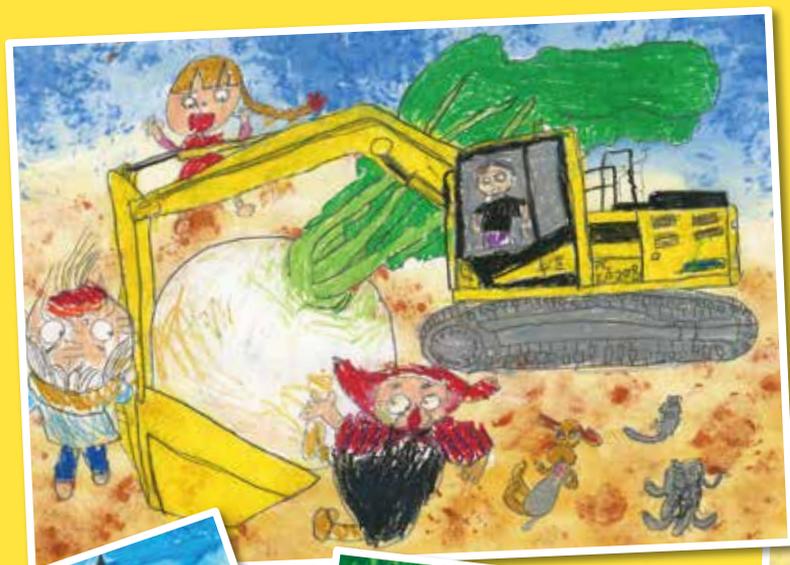
木が響かせる自然な音で暮らしを豊かにする手づくりスピーカー

◆行ってみよう

びわ湖で楽しむ、新しいウォータースポーツ
“NWWAアクアポタリング®”

◆おじゃまします

西村建設株式会社



ています。

平成28年から10年の予定で始まった改修工事は、ちょうど半分の工期が過ぎ、屋根の銅板や下地材の解体や塗装の掻き落としが済み、さまざまな調査が行われました。

例えばできるだけ建築当初と同じように修復するため、彫刻などに施された彩色についても、もともとどのように塗り分けられていたか、どんな塗料が使われてきたかなど、専門家に依頼して詳しい調査が行われています。

貴重な文化財の修復工事が見られる、またとないチャンス

さらに、今回の改修工事では素屋根という覆屋の中に、一般の参拝者が入れる修学ステージが設けられました。参拝者をまったく入れずに工事を行ったほうが、改修工事を行いやすいのですが、令和3年6月に迎える伝教大師1200年の大遠忌に訪れる多くの参拝者に配慮して、参拝者を迎えながらの改修工事が行われることになりました。

素屋根の建設から始まった工事は、解体と調査が終わり、今年からいよいよ屋根の葺き直しが始まる予定です。

修学ステージからは、滋賀県内最大の大きさを誇る根本中堂のスケールを体感したり、普段はなかなか見ることができない文化財が、伝統的な技術によって修復されるようすを目の当たりにすることができます。

創建当時と変わらぬ美しい建物に、よみがえっていく姿を思い描きながら、ぜひこの機会に延暦寺を訪れてみませんか？

●拝観時間

東塔地区(根本中堂と中心とする地域)

3~11月 8:30~16:30
12月 9:00~16:00
1~2月 9:00~16:30

西塔・横川地区

3~11月 9:00~16:00
12月 9:30~15:30
1~2月 9:30~16:00

●拝観料

大人 1,000円
中高生 600円
小学生 300円

*国宝殿(宝物館)は別途拝観料が必要です。

●比叡山延暦寺へのアクセス

JR比叡山坂本駅または京阪坂本比叡山駅下車、坂本ケーブルでケーブル延暦寺駅まで約11分、車の場合は田の谷峠ゲートから比叡山ドライブウェイへ

改修工事のあらまし

根本中堂と廻廊の屋根の吹き替え

1642年の再建当時、根本中堂の屋根はとちぎきでしたが、1798年の大改修の際に、とちぎきから銅板に葺き替えられました。昭和の大改修でも葺き替えられた銅板は、60年の間、風雨にさらされて表面に切れやめくれが発生していたため全体を葺き替えます。屋根全体に使われる銅板はおよそ20,000枚になります。



瓦葺のように見えるが、表面を銅板で覆った「瓦棒銅板葺」の大屋根。手前は廻廊のとちぎきの屋根。



廻廊のとちぎきの屋根と南の車寄せ。下地材だけになっている。



廻廊とちぎきに用いられるサワラ材。

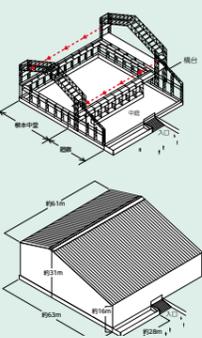


銅板を取り払った本堂の大屋根。下地板の下に土居葺きが見える。

建物外部の塗装

根本中堂と廻廊の外側のすべての塗装を一旦掻き落として塗り直します。昭和の大改修でも宝永年間の古文書を元に修理が行われましたが、今回も基本的には同じ仕様で再塗装される予定です。外部塗装についても古文書を参考に、科学的な調査を行っています。

柱の上部にある頭貫から上は「丹塗」という方法で、丹と呼ばれる赤土を膠水で溶いて



根本中堂の右手に設けられた構台で、11回に分けて鉄骨を組み立て、順番に左にスライドさせて素屋根の骨組みを完成させました。



中庭から見た廻廊。頭貫から上が丹塗(たんぬり)、下部は防腐防水効果の高いちゃん塗りになっている。

塗り直されていることが確認されたため、さらに詳しい調査を行うと、どのような方法で塗り直しを行うかを決定することになります。

また、十二支などが表現された墓股(屋根などを支えるため梁や桁の上に置かれたもの)の彫刻にはかつて極彩色の塗装が施されていました。塗装はほとんど落ちていますが、溝などに残った塗膜と古文書、科学調査を手がかりに、可能な限り建築当初の彩色で塗り直せるよう調査が行われています。

内部(中陣と外陣)の塗装

内陣の柱は蝋色塗、部戸(引き上げ式の格子戸)などの建具は黒の漆塗りです。全面的に塗り直しをすることになっています。

中陣の天井にはさまざまな花が描かれた「花天井/百花の図」になっていますが、煤などの汚れが付いたり、塗膜が剥がれたりしています。建立された当時の彩色が残っていることから、可能な限り汚れを落とし、塗料がとれないよう剥落止めを行う予定です。

彫刻の修理と塗り直し

内陣と中陣の境にある欄間彫刻は、堆積した煤やほこりを取り除いてみると、何度か



塗装が掻き落とされた組物。



古文書や調査をもとに作られた墓股(かえるまた)復旧図がおかれていた。

柱や軒先、床下などの修理

足元が朽ちたり、表面が傷んだ柱は、油圧ジャッキで建物を持ち上げて、傷んだ箇所を新しい木に取り替える根継ぎや組木修理を行います。



廻廊の屋根。風雨にさらされた軒付きが傷んでいるのが見える。

飾り金具や紋金具の修理

今回の工事では、飾り金具や金属製の装飾品などの細かな部分も改修が行われる予定です。新しく作り替えるほか、金箔を押し直したり、漆を塗り直したりすることになります。



組物や飾り金具、紋金具も丁寧に解体し、調査と補修が行われる。

スライド工法で建設された「素屋根」

改修工事期間中も参拝できる修学ステージを兼ねた工事用覆屋「素屋根」。急な山中に建っているため、資材を置くスペースや作業をするスペースが限られているため工夫が必要でした。

まず、200トンの大型クレーンが設置され、根本中堂のまわりにコンクリートの土台を築いて、その上に「素屋根」の骨組みが「スライド工法」で建設されました。

大掛かりな作業を行うための十分なスペースがないことと、落下などのリスクを考慮して国宝の根本中堂の上で作業することを避けるために採用された工法で、根本中堂の横に設けられた構台と呼ばれる作業スペースで、鉄骨を組み立てては油圧ジャッキを使って横にスライドさせ、これを11回繰り返して素屋根の骨組みができあがりました。

資材を保管するスペースも限られているため、1回分を組み立てては次の資材を搬入しなければならないことから、資材の調達や管理にも配慮が必要でした。「厳冬期にはマイナス7~8度になりました。積雪で作業ができず工程が遅れたり、比叡山特有の気象条件で霧が発生しやすく、霧が晴れるまではクレーン作業が一切できないということもありました」と、現場監督を務めた株式会社桑原組の河野 景さん。

さらに、素屋根建設中も一般参拝者を受け入れていたため、工事の進み具合に合わせて動線を変えるなど、きめ細かな対応を行いながら工事が進められました。

スライド工法で根本中堂の素屋根が完成した後、一般工法で廻廊の素屋根が建設され、また素屋根の内部に参拝者向けの修学ステージも建設され、約2年かけて2018年7月に完成しました。

大津市

びわ湖で楽しむ、 新しいウォータースポーツ “NWWAアクアポタリング”



ペダルに足が届く人ならだれでも楽しめるアクアポタリング

のんびりゆったり湖上をポタリング

ポタリングとは、目的地を特に決めることもなく、がんばらない程度の速度でゆっくり気楽なサイクリングを楽しむことで、ポタとも呼ばれています。

令和元年11月にビワイチがナショナルサイクルルート第1号に選ばれたことをきっかけに、ビワイチの普及を後押ししようとNWWAびわ湖PRプロジェクトが、もっと多くの人々にびわ湖を楽しんでもらうための新しいアクティビティとして、アクアポタリング（通称「アクポタ」）の普及活動をスタートしました。

耐久性と強度に優れたイタリア製のシャトルバイクキットを採用、2個のフロートにアタッチメントで自転車が取り付けられていて、自転車のペダルを漕ぐと水中のフィンが回転し、これが推進力となって水上を移動します。

また、自転車と同じようにハンドルを切れば方向転換も容易で、爽やかな風を受けて陸上さながらのサイクリングを水上で楽しむことができます。

だれでもすぐ体験できるのが魅力

時速6〜12キロのスピードで、湖上をフカフカ浮かんでのんびり散策する体験は今までになかったもの。カヌーやボートより高い、立って歩くような視線で湖上からの景色を楽しむことができます。



- NWWAアクアポタリング®
- 体重75kg以下 身長150cm以上
 - 参加は2名以上(1人での参加は不可)
 - 5,000円(税込5,500円)

ライセンスやトレーニングが必要なアクティビティが多い中で、ペダルに足が届く人という条件を満たせば、特別なスキルや経験がなくても、だれでもすぐ体験できるのが魅力です。

「アクアポタリング」体験ができる「アウトドアスポーツクラブオーバル」では、インストラクターが最初に注意事項などを説明するほか、ライフジャケットの貸出やレスキュースタッフの同行など、十分な安全対策を行って安心して参加できるようにしています。

また、スタッフが撮影した体験中の写真をプレゼントしてくれるほか、体験後は施設内のプールやジャグジーを使用することもできます。

水上にフカフカ浮かぶ自転車をこいで、びわ湖の上をのんびり散歩する「アクアポタリング」。これまでになかった新しいタイプのアクティビティとして注目が集まっています。

湖上で爽やかな風を感じたり、普段は見ることのできない眺めを楽しんだり、びわ湖の新たな魅力を体感してみませんか？

びわ湖がもっと好きになる！こんなアクティビティもお勧め

NWWAウォーターボール®とウォーターチューバー

直径約2・5メートルの透明なビニール製のボールの中に入って、水上にフカフカ浮かんで遊ぶウォーターボール。こちらもイタリアで開発されたアクティビティで、NWWAびわ湖PRプロジェクトが初めて日本に紹介しました。



中で動くボールが転がるため、立ち上がるのも結構難しいですが、水の上に寝転んだり、ゆらゆら浮遊する感覚を楽しんだり、湖上からの景色を楽しむだけでなく、透明なビニールを通して水中のようすを観察できるので、環境学習などにも活用されています。UVカット素材なので、日差しが強い日も安心！

また、チューブ状の透明な遊具の中に入って、ひたすら走ってびわ湖の上を動きまわる水上アトラクション「ウォーターチューバー」もお勧め。友人や家族と息を合わせて思いっきり駆けまわって、ストレスを発散してみませんか？



水上にフカフカ、ゆらゆら浮かんで遊ぶウォーターボール



水上をひたすら走って移動するウォーターチューバー

- NWWAウォーターボール®、ウォーターチューバーとも
- 4歳以上(4~6歳のお子さんは大人[13歳以上]と一緒に体験)
 - 体重80キロ未満 ● 2~6名で参加(1名での体験は不可)
 - 大人(13歳以上) / 4,000円(税込 4,400円)
 - 子供(4歳~12歳) / 3,500円(税込 3,850円)

SUP

水上スポーツとしてすっかり定着したSUP(Stand Up Paddle board)は、ボードの上に立ってパドルをこいで水面を進むアクティビティです。

安定感のあるボードを使用するため、初心者でも簡単にボードの上に立つことができ、初めてでも湖上散歩が楽しめます。体幹やバランス感覚を鍛えることができるので、エクササイズ効果も期待できることから、近年人気が高まっています。

特に、オーバルの前に広がるびわ湖は比較的穏やかなことから、初めての人でも不安なく参加できます。インストラクターの指導を受けて、最初は座った状態でこごころから始めて、慣れてきたら立ちこぎで湖上を移動します。



初心者でも簡単にボードの上に立って湖上散歩が楽しめるSUP



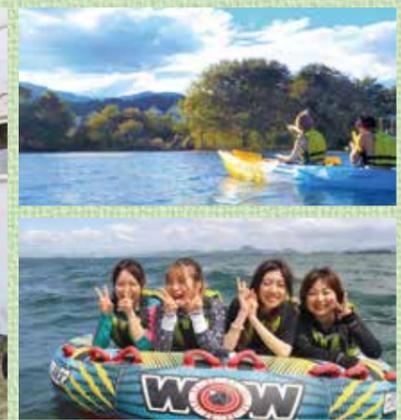
水上でゆったりヨガを楽しむこともできる。

- SUP体験コース
- 10歳以上
 - 5,000円(税込5,500円)

オーバルオプテックス株式会社

今回紹介したアクティビティのほかに、カヤックやモータボートクルージングなど、個人で楽しめる「アウトドアアクティビティ」、修学旅行や校外学習、企業研修に活用できる「環境体験学習・体験型研修」を提供するほか、カヌー競技を通じて子ども達の成長をサポートする「子どもカヌースクール」を運営しています。

- 住所 / 大津市雄琴5-265-1
- 連絡先 / TEL077-579-7111
- 公式サイト / <https://www.o-pal.com>



おじゃまします

人を大切にし、誠実な仕事ぶりで 顧客や地域の信頼に応える企業を目指して

西村建設株式会社

湖南省中央3丁目12番地

代表取締役社長 鵜飼 潔



本社屋



施工例：小佐治甲南線補助道路整備工事（道路）



施工例：風呂山谷補助通常砂防工事



施工例：松籟会館改築工事



施工例：株式会社メイコン日野第二センター5号倉庫増築工事

第一線での豊富な経験を活かし 6代目社長に就任

西村建設株式会社は大正5年の創業当初は石材業を営んでいましたが、昭和26年に土木工事の分野に進出、54年に株式会社村上上工務店と合併して、総合建設業としての実績を積み重ねてきました。

令和2年12月25日に第6代の代表取締役役に就任した鵜飼 潔社長は、入社38年の生え抜きて、第一線で数多くの土木工事に携わってきた経験の持ち主です。「ものづくりに興味があったのでこの世界に入りました。一つ一つの仕事への思い入れも強く、それだけにやりがいも大きかった」と振り返ります。

入社当初に比べると公共工事が減り、分譲地の開発や住宅建築のウエートが高まって、賃貸住宅の管理や不動産仲介事業を行う管理部や、建物のメンテナンスやリフォームを手がけるMR事業部が創設されるなど事業の多角化が進みました。

「時代に即したビジネスを展開していく管理職とそれぞれのキャリアに合った効果的な社員教育を目指しています。」

社会貢献活動にも積極的に取り組み、甲賀市のまち美化運動や美知メセナ活動のほか、献血活動、環境保全と地域安全・災害時の救援活動などに協力する「NPO法人甲賀ユー・トピネットワーク」にも参画しています。

全社員が参加する社員旅行
台湾旅行（左）、湯布院旅行（下）



とが鍵を握る」と言う鵜飼社長。地元密着企業として培ってきた実績を活かし、日枝地区の開発では地元住民と土地区画整理組合を組織して事業に取り組み、313区画の大規模分譲地が誕生しました。

女性がいきいき働く職場づくりに取り組む

同社では女性が働きやすい職場づくりに積極的に取り組んできました。厚労省の従業員子育て支援事業「くるみん」認定や、ワークライフバランス推進登録企業として、家庭と仕事が両立できるよう、3力月の産休、育児を男性社員にも取得するよう奨励しているほか、小学生までの子どもがいる社員は時短勤務もできるようにしています。

鵜飼社長は「私も利用したのだから、みんなも活用してほしい、そういう雰囲気をつくっていくことが大切になる」と指摘します。

人材育成についても、今期から階層別研修を導入して、入社間もない社員、中堅社員、

人を大切にする経営を目指して

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、お客様と現場、会社を結んでリモート会議が行えるようにしたほか、自動検温装置の導入、社内の使われていなかった部屋を活用して、密を回避する職場の整備などを行うなど、今後、起こりうるさまざまな危機にどう対応するかを検証するきっかけになりました。

「創業以来大切にしてきた『誠実にまじめに仕事に取り組む企業文化』をしっかりと残していきたい」と言う鵜飼社長。「施工管理センターの会社なので、やはり社員の人間力を問われるところが大きい。お客様の信頼に応えられるような質の高いものづくりをしていくためには、会社をどれだけ愛せるか、自分の仕事をどれだけ好きになれるかが鍵を握る」と指摘します。

2年に1度、会社が経費を負担して全社員を対象に社員旅行を実施したり、さまざまな制度を導入して働きやすい職場づくりに取り組んだり、風通しのよい社風を育てるなど、人を大切にする経営によって、社員の能力を活かし生き残っていける企業を目指したいと考えています。



階層別研修を導入、効果的な社員教育を目指している

税法改正研修（上）
被考課者研修（右）



社会貢献活動：信楽小学校現場見学会

社会貢献活動：
下田保育園グラウンド整備



土地区画整理組合を組織して事業が進められた大規模分譲地「日枝山手台」

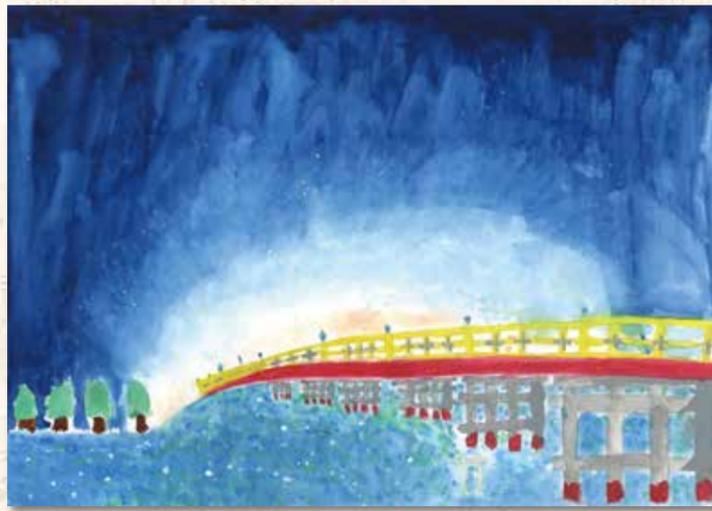


鵜飼潔代表取締役社長

夢けんプラザ絵画コンクールの審査も8回目となりました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催も心配されましたが、多くの応募作品のおかげで活動を継続することが出来ました。これも公募に参加くださった皆様や関係者の方々のご尽力によるものと感謝しております。審査の場では、コロナ禍という特殊な状況の影響でしょうか、普段よりも郷土の自然や歴史や文化と向き合った作品に注目が集まりました。自然と対峙するダムや橋などの建造物、歴史深い社寺やお城や駅などの風景、そして滋賀県に縁のある作家や作品に触発された作品など、地域の魅力がいっぱい詰まった素敵な作品に勇気をもらいました。まだまだ先の見えない状況が続いていますが、アートの力を信じて、次回も素敵な作品と出会うことを願っています。

第8回 『夢けんプラザ絵画コンクール』

次世代を担う子どもたちに向けて、建設産業の魅力を発信する目的でスタートした滋賀県建設業協会の「夢けんプラザ絵画コンクール」。安全で快適な暮らしを送るためのインフラ整備や、まちの豊かな環境の整備など、多くの役割を建設産業が担っていることや、その役割の大切さに関心を持ってもらい、子どもたちの豊かな感性や観察力、創造力を育むことを目的に開催される、県内の小中学生を対象とした絵画コンクールです。



最優秀賞
第2部 小学校高学年の児童
「日の入り時の瀬田の唐橋」
高澤 真枝 (6年生)

評 夕暮れ時の空が闇に包まれていく様子や、瀬田の唐橋の湖面に映るキラキラとした光の表現を、幻想的に表現したロマンチックな作品です。夜空の微妙なグラデーション、鮮やかな橋の朱色や金色、スバッターリングによる光のドットなど、さまざまな技法を駆使して描いた秀作です。



「安全救助ヘリ」
上野 瑞貴 (4年生)
評 救助ヘリが土砂崩れの現場で活躍する様子を丁寧に描いています。自然災害が多発する今日的なテーマを表現した作品です。



「近江八景 浮御堂」
小林 静佳 (5年生)
評 黒で表現された水墨画のような松の表現や、屋根の微妙な色彩の変化から、光や空間に対する繊細な感性が伝わる美しい作品です。



「仮設道路工事でブル大活躍!!」
南 朔次郎 (4年生)
評 ブルドーザーが大地を削りながら整地する様子を丁寧に描いています。土の繊細な表現から、作者が熱心に現場を見ていたことが伝わってきます。



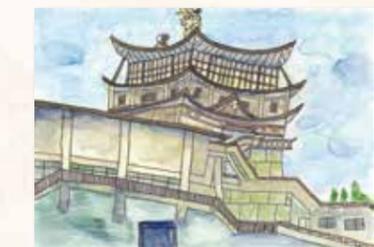
「大正時代に建てられて今も使われている建物」
瀧下 晃平 (5年生)



「工事現場」
小北 怜央 (5年生)



入選
「桜がさくひこね城」
横江 莉菜 (4年生)



「滋賀県立琵琶湖文化館」
奥村 紘暢 (5年生)



「オランダ堰堤」
清水 泰稀 (5年生)

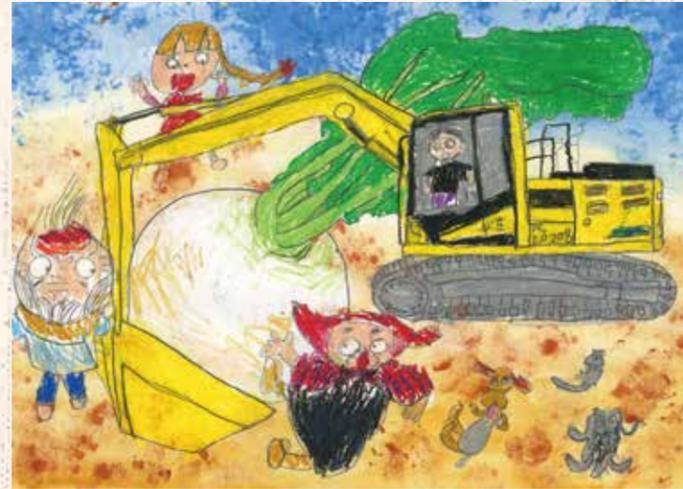


「みんなのことを思って働いている人」
高橋 羽空美 (4年生)



評

有名な絵本「おおきなかぶ」の物語に、家族や動物と一緒に、はたらく機械が登場するユニークなパロディ作品です。臨場感のあるダイナミックな構図と登場人物の驚いた表情が魅力的な秀作です。余談ですが、この絵本の挿絵は、佐川美術館にコレクションされている彫刻家の佐藤忠良さんによるものです。



最優秀賞
第1部 小学校低学年の児童
「おおきなかぶもまかせて!」
廣田 士郎 (1年生)

テーマ
①「工事ではたらく機械」
あつらいいなと思う未来の建設機械
迫力ある建設機械
②「工事ではたらく人」
工事をしている未来の自分
工事現場でがんばって働く人の様子
思わず動きたくなるような、未来の建設現場
③「滋賀の建設物」
滋賀の建物や町並み
便利な生活を支え、災害から人々を守っている道路、橋、ダム



「青空にそびえる彦根城」
丸井 篤斗 (2年生)

評 どっしりとした石垣の緻密な表現による存在感と、空に霞むような屋根の滲みの表現が、青空に向かって凛と立つ彦根城の姿を見事に表現しています。



「はく力のある工事げん場」
飯田 智稀 (3年生)

評 鉄骨を吊り上げる大きなクレーン車を中心に、はたらく人や車が繊細なタッチと色彩で描かれることで、全体としてダイナミックな空間が表現された秀作です。



「ダンプトラック」
瀧下 佳弘 (1年生)

評 巨大なダンプトラックが画面いっぱいに描かれています。少し右側に詰まった構図が動きを感じさせ、黄色のダンプトラックと背景の緑の対比が美しい力作です。



「はたらくこん虫」
前河 里音 (2年生)



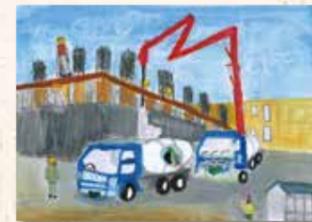
「家を作るだいくさん」
森 莉愛奈 (3年生)



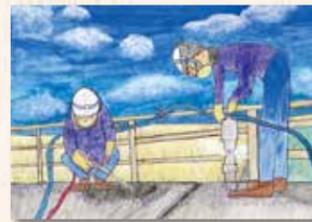
入選
「未来の建設現場」
梅田 大輔 (3年生)



「マンション型なんでもロボット」
北川 尚樹 (1年生)



「ぼくの学校うつつと工事中」
南 早弥汰 (2年生)



「橋の上の工事現場」
高橋 謙心 (2年生)

最優秀賞

「八日市駅、いつもお迎え
ありがとう」
竹安 弥耶(2年生)



評 八日市駅の風景が幻想的なパステル調の色彩で丁寧に描かれています。この色彩のイメージは、美しい夕日に触発されたのか、または駅のレリーフ作品へのオマージュかもしれないと、想像が膨らみます。郷土の自然や文化を感じとる、作者の繊細な感性が画面から伝わる美しい作品です。

優秀賞



「彦根城と桜」
瀧川 奏星(1年生)

評 実際に桜を見ることが出来なかったコロナ禍の記憶が作品に込められています。郷土の誇りである彦根城と組み合わせることで力強い表現になりました。



「永源寺ダム」
松田 芽奈(1年生)

評 周囲の山々の緑と川や空の青が、全体的に淡い色彩で描かれることで、永源寺ダムの夏の澄んだ光や空気を感じさせる美しい作品です。



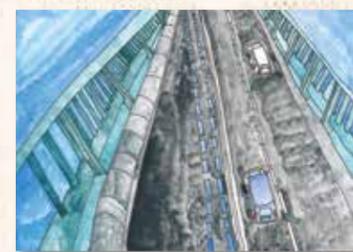
「炎天下の石山寺多宝塔～多くの人に
見守られて～」
吉川 凪(2年生)

評 夏の炎天下に現地で丁寧に描かれた力作です。写生を通じて神様と参拝者と作者の関係から主体と客体の問題を考察した哲学的なエピソードも魅力的です。



「旧八幡郵便局」
上原 大輝(1年生)

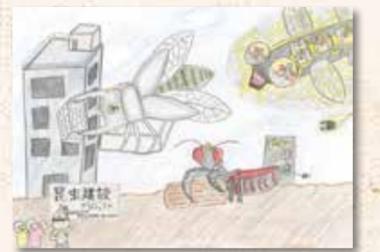
入選



「近江大橋」
吉村 真未(1年生)



「災害復帰」
平田 航大(1年生)



「昆虫建設プロジェクト」
門谷 朝磨(1年生)



「工事現場に向かうトラクター」
村井 裕仁(1年生)



「森や岩場ではたらく機械」
神田 空輝(1年生)

夢 Interview

木が響かせる自然な音で 暮らしを豊かにする手づくりスピーカー

彦根市にある築約150年の古民家で繊細な手仕事から生まれたスピーカー。木のぬくもりが伝わる美しいデザイン。ユニークなスピーカーから響くのは、派手さはないけれど耳に心地よい音楽。暮らしに自然に寄り添う音楽を届けたいと語る、青柳亮さんと麻美さんご夫妻にお話をうかがいました。



工房と住まいになっているのは彦根市の指定文化財の古民家。セルフリビルドされた古民家空間で試験もできるよになっている。

●HORA AUDIO (ホラオーディオ)
●〒521-1123
滋賀県彦根市肥田町400
●TEL-FAX 0749-43-3090
●www.hora-audio.jp
※ショールームは予約制



丁寧な手仕事から生まれた美しい木のスピーカー

●どんな経緯でものづくりの仕事をするようになったのですか？
大学卒業後、就職し事務職に就いたのですがものづくりの仕事への憧れが強くなり、職業訓練校に行き木工技術を学び、家具づくりを始めました。その後ロンドンに留学、帰国後家具職人として働きました。30歳になってからはアーティストと協働で作品や展覧会を制作するような幅広い仕事へとシフトしていきました。また音楽好きが高じて、音楽レベルの立ち上げやイベントの企画などにも携わりました。

●スピーカーの手づくりを始められたきっかけは？
もともとオーディオよりレコードに興味があるタイプでしたが、デザインに一目ぼれして購入したスピーカーの音に衝撃を受けたことが始まりです。今までは音楽が全然違って聴こえたことから、オーディオに目覚めました。その後、いろいろなスピーカーを使っていくうちに、自分の好みの音がわかってきて、好奇心から仕事でもある木工技術を生かして、自分のためのスピーカーを作ってみようと思ったのがきっかけです。

●それがビジネスに結びついたのですか？
インターネットや本等から情報を集めて独学で設計して作った1作目は、フランスはまだ整っていないものの中で聴いてきた音と別次元の可能性を感じました。そこから理想とする音を探求して何台も試作を繰り返しました。納得のスピーカーが完成したとき、自分だけが楽しむのではなく、プロダクトとして世の中に発表して広めたいという思いが強くなり、2015年春にホラオーディオを設立しました。自然な流れだったのであまり構



滋賀県産の木や麻を使ったNORM

えることなく、音楽とものづくりが一体となったビジネスへの一歩を踏み出すことができました。



創業のきっかけとなったMONOはバックロードホーンタイプのスピーカー

●どのような経緯で彦根市に移ってこられたのですか？
音が影響して暮らしが楽しくなるようなきっかけを作るお手伝いができたいと思っていました。

●スピーカーの特徴について紹介いただけますか？
各製品それぞれ音の設計は異なりますが、共通しているのは、天然木でつくられたボディとフルレンジのスピーカーユニットを電子回路なしで使うところ。人工的に加工されていない自然な音で、長く聴いても耳が疲れません。木は音楽を響かすのに理想的な素材だと思っています。地元滋賀県産の木材や麻を使ったNORM(ノルム)という製品もあります。MONO(モノ)という創業のきっかけとなった製品はバックロードホーンという少し古いスタイルのスピーカーです。自然の力を使って音を増幅させるために見えない部分にも細工を凝らしています。家で過ごす時間が増えた今、もっと手軽に自然な音のスピーカーで音楽を楽しんでもらえたらと、簡単なアプリとスマートフォンがあれば楽しめる新製品SAI(サイ)も開発しました。



『HORA AUDIO』
青柳 亮さん麻美さん

2015年に神奈川県から拠点を移し、自然に囲まれた古民家に工房とショールームを開設。音楽への愛情とものづくりの技術を掛け合わせた事業としてHORA AUDIOを立ち上げる。

●最後にこれからのお夢についてお聞かせいただけますか？
彦根市の指定文化財になっているので、元に戻せるような改修はできませんが、規制がある分逆にいるようなアイデアが浮かんでいきます。躯体はともじっくり考えていたので、当初考えていたよりは手を入れなくて済みました。古民家なので冬はかなり寒いです。それゆえに春の訪れに敏感になりました。ここに住んでからは、季節の変化を敏感に感じるようになったと思います。

高病原性鳥インフルエンザ防疫活動に迅速に対応

令和2年12月12日(土)、滋賀県との協定に基づき、消毒ポイントの設置業務を含め、東近江市で発生した高病原性鳥インフルエンザに係る防疫活動に東近江支部、彦根支部会員が従事しました。

同日午後、滋賀県からの要請を受け、即座に東近江支部で対応を開始すると同時に、滋賀県建設業協会本部では災害対策本部を立ち上げました。午後8時から処分場所の掘削を開始し、滋賀県をはじめ関係諸団体等と協力のうえ業務にあたり、14日(月)午前2時15分に埋め戻しが完了。2時30分に消毒作業など一連の防疫作業が終了しました。

高病原性鳥インフルエンザの滋賀県での発生は今回が初めてでしたが、この冬、西日本を中心にこの鳥インフルエンザが各地で多発しており、本会では自然災害だけでなく、家畜伝染病発生時における防疫対応についても、滋賀県等からの要請に迅速に対応できるよう体制整備に努めています。



福井県大雪災害に対する応急復旧活作業に従事

令和3年1月10日(日)、断続的な大雪のため北陸自動車道で最大1,500台の立ち往生が発生するという事態となり、福井県からの要請による自衛隊の出動と並行し、滋賀県建設業協会では国土交通省ならびに滋賀県からの各協定に基づく要請により、国道8号福井管内における応急復旧活動に対応しました。

15日まで、昼夜を問わないダンプトラック15台による雪の運搬作業、また17日まで夜間のロータリー車による除雪作業に従事しました。



滋賀県建設業協会の活動について
ご紹介するコーナーです。
協会広報委員会のフェイス
ブックもあわせてご覧ください。

夢けんひろば

『けんせつフェスタしが』を開催! ご来場ありがとうございました!

滋賀県建設産業魅力アップ実行委員会主催で、建設産業の魅力を発信する「けんせつフェスタしが」が令和2年11月28日(土)に大津港にて開催されました。

コロナ禍の中、感染防止対策を行いながらの開催となりましたが、多くのお客様に来場いただきました。出展ブースは官公庁及び建設産業団体連合会加盟団体を中心に27ブース。ステージでは滋賀県の若手・女性技術者表彰、作文コンクール・フォトコンテスト入賞表彰、また中学生による吹奏楽演奏をお客様にご観覧いただきました。

ご来場のお客様は約1,700名にのぼり、盛況の中幕を閉じました。
たくさんのご来場、ありがとうございました。



夢けんプラザ絵画コンクール表彰式

「第8回夢けんプラザ絵画コンクール」の審査会が令和2年9月17日(木)に行われ、第1部(小学校低学年)、第2部(小学校高学年)、第3部(中学生)より、それぞれ、最優秀賞1点、優秀賞3点、入選6点の計30点が選ばれました。

各最優秀賞作品については、下記の日程で各学校を訪れ、表彰式を執り行いました。

- 第1部 野洲市立北野小学校 令和2年12月10日(木)
- 第2部 大津市立瀬田北小学校 令和2年12月11日(金)
- 第3部 東近江市立玉園中学校 令和2年12月10日(木)



仕事!勉強!やりたいこと!がはかどる

コワーキングスペース 『今プラス』

湖南市平松北1丁目46 1-B
0748-60-2249
https://start-now.link

電源、Wi-Fiのほか、
文房具も準備された
ワークスペース



中野龍馬代表取締役

**多種多様な人々が
気軽に利用できるシェアオフィス**

JR甲西駅のすぐ前にある、明るいガラス張りのコワーキングスペース『今プラス』。運営するのはWEBサイトの制作や印刷物のデザインなどを手がけるジャパニーズ株式会社で、湖南市で育った代表取締役の中野龍馬さんが、事務所として市内で借りた古民家に空きスペースがあったことから、そこを活用するためコワーキングスペースを始めたのがきっかけでした。

2019年には、県外や海外から来た人もワーケーションなどに利用できるようにと、1週間から滞在できるコリビングスペース『今プラスハウス』をオープンしました。

昨年、サラリーマンや主婦、学生、フリーランスで仕事をしている人など、多種多様な職業の人々がもって気軽に利用できるようにと、現在地にコワーキングスペースを移転。電源、Wi-Fiのほか、シャープペン、ボールペン、消しゴム、シャーペンなどの文具が備えられていたり、フリードリントも用意されていて、パソコンやタブレットだけ持って行けばすぐに作業できるようにしています。



多種多様な職業の人が気軽に利用できるシェアオフィス

現在の会員は約80人ですが、会員以外でも前と入店時間を記入するだけで、30分単位で利用できるのでも便利。会員なら月額5,000円からの利用し放題プランなどもあって、よりリーズナブルに活用することができます。

1階の半分は会話NGのワークスペースに、残り半分は会話OKのコミュニケーションスペースで、畳敷きの小上がりに掘りこたつ式のテーブルが置かれています。「ゴロンと横にもなれるし、絶妙な距離感で隣のテーブルにいる人と気軽に話ができるので、情報交換したり、WEBでわからないことを詳しい人に聞いたりできるというメリットもある」と中野さん。

2階はプレゼンテーション用のモニターやプロジェクターなどが完備したレンタルスペース『今プラス ROOM』で、会議やセミナー、動画撮影、パーティースペースとして、1時間単位で利用できます。

また、シェアキッチンがあり、飲食店の営業許可も取得しているの、開業前に10食限定ランチで試してみたり、オフィスとして住所が利



会議やセミナーに利用できるレンタルスペース『今プラス ROOM』



掘りこたつ式テーブルの畳スペースも設けられている。

これからやりたいことが山ほどあるという中野さんが、まず取り組みたいと考えているのは、プログラミングスクールの開講と、世界中の子どもたちが使えるようなプログラミングアプリを開発すること。子どもたちの学ぶ力を伸ばすようなビジネスを、湖南市から世界に向けて発信していきたいと考えています。

最近、都市部では増えてきたとはいえ、人口5万人規模の地方ではまだ珍しいシェアオフィス。「WEB制作という本業があるのでやっていけるが、コワーキングスペースだけ地方でやっていくのは厳しいのではないかと」言う中野さんですが、一方で「さまざまな人とつながれることや、人材をリクルートしやすいことのほか、企業や行政と一緒に仕事をできる機会が増えたりと、ここを開設したことのメリットは大きい」と言います。

現在、守山市に倉庫をリノベーションした2軒目のコワーキングスペースをセルフビルド中という中野さん。目標は県内に5カ所のコワーキングスペースを開設すること。「東京とつながっていることは大切だけど、東京に住まなくても地方でもしたいことはできる。自分が育ったこの場所が好き、滋賀が好きだから、ここで最高の生き方をしたいと思った」と言う中野さんは、地元の小中学校でプログラミングの講師も務めています。

滋賀から世界へ展開する
ビジネスを目指して

最近、都市部では増えてきたとはいえ、人口5万人規模の地方ではまだ珍しいシェアオフィス。「WEB制作という本業があるのでやっていけるが、コワーキングスペースだけ地方でやっていくのは厳しいのではないかと」言う中野さんですが、一方で「さまざまな人とつながれることや、人材をリクルートしやすいことのほか、企業や行政と一緒に仕事をできる機会が増えたりと、ここを開設したことのメリットは大きい」と言います。

現在、守山市に倉庫をリノベーションした2軒目のコワーキングスペースをセルフビルド中という中野さん。目標は県内に5カ所のコワーキングスペースを開設すること。「東京とつながっていることは大切だけど、東京に住まなくても地方でもしたいことはできる。自分が育ったこの場所が好き、滋賀が好きだから、ここで最高の生き方をしたいと思った」と言う中野さんは、地元の小中学校でプログラミングの講師も務めています。



開業前のトライアルなどにも活用できるシェアキッチン

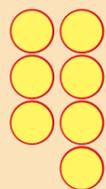
長浜農業高等学校と彦根工業高等学校でリクキャラが活動

令和2年12月17日(木)、滋賀県立長浜農業高等学校園芸科の2年生35名、また、令和3年3月8日(月)には滋賀県立彦根工業高等学校建設科の2年生39名を対象に、次世代の経営者による手作りの映像を使ったリクルートキャラバン活動を滋賀県と共働で展開しました。

長浜農業高校の生徒さんの多くは、建設業と初の接点を持たれる機会ということで建設業界について分かり易く説明を行い、また学科として建設を専攻されている彦根工業高校の生徒さんには、今年4月から制度改正により高校在学中に取得できることになる土木施工管理技士2級技士補資格の説明もまじえながら、建設業についてより詳しい解説を行いました。

来年、最終学年となる生徒の皆さんは、これから卒業後の進路を決める時期を迎えることもあり、真剣にキャラバン隊による「建設業の働き方改革」や「女性活躍」「ICT化」等に関する説明に耳を傾けてくださいました。

リクルートキャラバンは、引き続き県内の中学校・高等学校をはじめ、大学、高等専門学校の学生さん、先生方との対話、建設に関する情報提供等を通じて良好な関係を構築し、リクルート活動に努めていきます。



- ① 武者 ○
 - ② 朝令 ○
 - ③ 事実 ○
 - ④ 油断 ○
 - ⑤ 他力 ○
 - ⑥ 模索 ○
 - ⑦ 威風 ○
- ① 他所の土地や外国に行つて武芸などの技を磨くこと。
② 命令などが度々変更されて一定しないこと。
③ 事実にもとづいていないこと。
④ 気をゆるめると思わぬ失敗を招くという諷刺。
⑤ 他人の力によって望みをかなえようとする事。
⑥ 暗闇の中で手探りするよつにあれこれやってみること。
⑦ 威厳が満ちあふれてりつぱなようす。



パズル クイズ

四字熟語クイズ

四文字熟語を完成させてください。
○の文字を組み合わせて……?
ヒント 特集「話題の焦点」

前号の答え
ステイホーム

パズル&クイズ当選者

- 三宅 弘晃さん
- 高木 長俊さん
- 西村 忠員さん
- 西川 清子さん
- 植松 幸子さん
- 伊藤 馨佑さん
- 今江 京子さん
- 福井 洋子さん
- 田附 弘明さん
- 河野 サエ子さん

応募方法

- P&Q及びアンケート(返信用添付ハガキ)の両方にお答えいただいた方の中から抽選により粗品を進呈します。ふるってご応募ください。
- 別のハガキにてご応募の方も住所、勤務先(学校名)、氏名及びP&Qの答え、アンケート、メッセージ等を書いて送付してください。
- 締め切り
令和3年6月20日必着
- あて先
〒520-0801
大津市におの浜一丁目1-18
(一社)滋賀県建設業協会 広報委員会

季刊夢けんせつ春号

◆
2021年(令和3年)4月10日
通巻第693号
発行 一般社団法人滋賀県建設業協会
〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18
TEL.077-522-3232(代)
FAX.077-522-7743
http://www.yumeken.or.jp
企画編集 広報委員会
協力・印刷 宮川印刷株式会社

滋賀県産の最高級もち米『滋賀羽二重糯』を使った大福『iroHa』。「伸び」「こし」「粘り」に優れ、絹のようになめらかな食感が特徴のやや小ぶりの大福餅で、そのフレーバーは約30種。定番のよもぎや黒豆だけでなく、いちご館とクリームが2層になった人気ナンパーワンのいちごミルクのほか、チョコ大福やクリームチーズ、マスカット、小豆ホイップ、カフェオレ、ミルクティーなどなど。クリームソーダといった変わり種もあり、「食べてみると予想以上にクリームソーダの味がする」と話題になっています。

春には「桜大福」、初夏からは「レモン大福」など季節限定のフレーバーが加わったり、1〜2カ月に1種、新商品が加わったりするのも楽しみ。

高島市で食品の製造卸売を手がける株式会社天平が、滋賀の特産品を使った商品で、滋賀の魅力をもっとたくさんの人々に伝えたいと開発に取り組み、和菓子離れ

カラフル大福「iroHa」(イロハ)




25〜30種のフレーバーの中から、好きなものをバイキング形式で選んで購入できるのが魅力。

が進んでいる中で、より幅広い年齢層の消費者に、和菓子の美味しさを楽しんでもらえたらという想いで商品化しました。

ものごとの初歩や基本を意味する『iroHa』というネーミングには、日本の和菓子を基本として、英語表記にすることで、アレンジを加えながら現代風でおしゃれな商品として展開したいという意味合いが込められています。

全品108円(税込)と価格も手頃ですが、パッケージもおしゃれで手土産にもピッタリ。カラフルな見た目がインスタ映えすると、発売以来SNSでも評判になっています。購入は駅構内や商業施設などで開催される期間限定イベント販売で。



株式会社天平
●〒520-1512 高島市新旭町太田775番地
●TEL. 0740-25-5225
●http://www.tenpei.com/

※イベント出店スケジュールはインスタグラム(iroha_from_shiga)もしくは、お電話にてお問い合わせください。



After Word

早いもので令和2年度も、終わってしまいましたね。この一年、リモート会議やテレワーク、オンライン飲み会など、私たちのライフスタイル・ビジネススタイルは大きく変わってしまいました。

新しいメンバー構成でスタートした広報委員会も開催頻度が減り、書面表決を行うなど、スタッフみんなで集まり、コミュニケーションを図る機会も減ってしまいましたが、春号が発行される頃には少しでもコロナが収束していることを願いつつ、人との繋がりは大切にしていきたいと思います。

オリンピックは開催されるか微妙なところですが、絵画コンクールやフォトコンテストは絶対開催しますので、是非とも参加をお願いします!

仕事の達人、遊びの達人 私のオフタイム

ゴルフに入れ込んだ独身時代 現在は子ども中心の休日

谷庄建設株式会社 **松本 篤**



妻が仕事の時は子どもたちのために、スマホの動画レシビサイトを見ながら食事の用意をしています。

チャーハンのような子どもが好きなメニューもよく作ります。

父のセットを借りて社内旅行で初めてゴルフコースに出ました。その時はさんざんな成績だったのですが、それがきっかけで3年くらい熱心に練習した時期がありました。スポ少で野球をしていたので、止まった状態のボールを打つことなど簡単だと思っていたのですが、思うように打てずチャレンジ精神に火がついたんです。

一時はひんぱんに通っていたのですが、結婚を機に回数が減ってしまいました。現在は時々打ちっぱなしに行くくらいですが、会社のコンペには毎年参加しています。

ラグビー、野球、サッカー、相撲などスポーツ観戦も好きで、一昨年のラグビーワールドカップでブームになる以前から、テレビで試合を楽しんでいました。20代の頃、地元の友人と草野球をやっていたこともあります。

今は小学生の男の子と女の子がいるので、休日はどうしても子どもと過ごすことが多くなっています。一緒に出かけたりするほか、妻が仕事の時は子どもたちのために、スマホの動画レシビサイトを見ながら食事の用意をしています。

チャーハンのような子どもが好きなメニューもよく作ります。



ニューで、サツと手軽にできるものが多いのですが、いつかきちんと魚をさばけるようになりたいという目標があります。手順とコツを知らないまま、初めて大きな鯛をさばいた時は、骨が固くて頭がなかなか落とせなくて本当に難儀しました。

子どもたちがもう少し大きくなったら、またゴルフも気を入れてがんばってみたいし、ニジマスやイワナといった清流釣りにチャレンジしてみたいと思っています。

古くからある銭湯を若い人が受け継いでいくことは、良いことだと思います。マスクもかわいいですね。

フォトコンテスト、第26回も素晴らしい写真がたくさんありました。毎年楽しみにしています。

フォトコンテストでグランプリをゲットするのが今年の夢です。(毎年、同じ夢を語っています)

びわ湖サイダーを県内のお土産屋さんでよく買っていますが、甲賀コーラがあることは知りませんでした。見かけたらぜひ購入して飲んでみたいです

コロナでたいへんですが、マスク、手洗い、うがいをして、日本国民全員で乗り切りましょう!

建設業のことがよくわかる写真が多くてよかったです。

VOICE 読者の声

前号は「話題の焦点 ステイホームの楽しみ方」と「フォトコンテスト」が特に読みごたえ、見ごたえがありました。



一般社団法人 滋賀県建設業協会
www.yumeken.or.jp